



準備はお早めに！

確定申告受付は 2月18日～3月17日まで

2月18日(月)～3月17日(月)まで、確定申告の受付が行われます。

確定申告は、1月1日から12月31日までの1年間で得た個人の収入に対し、必要経費や控除額などを差し引いた額に課税される所得税の納付に関して、申告をする手続きです。

市では、農業を営んでいるなど申告が必要と思われる方、また新たに転入されてきて前年の収入の状況などがわからない方について、「市・県民税の申告書」をお送りしています。

正しい申告をするため、また、申告時にあわてないためにも、必要書類の整理や収入・支出金額の集計などは、早めの準備をお願いします。

申告が必要な人とは？

前年中に所得がなかった方も、市・県民税の申告が必要になります。ただし、同一世帯の方に扶養されている場合については、その限りではありません。



また、サラリーマンで給与所得のみの人・確定申告をした人・前年に収入がなく同居している親族の扶養となっている人などは申告の必要はありません。

※住宅ローン控除を受けている方は、年末調整をしていても別途申告が必要な場合がありますので、ご注意ください。

※確定申告を行う方は確定申告と別に市・県民税の申告をする必要はありません。

■申告していないと・・・

申告がないと、国民健康保険税などの軽減適用や所得証明書などの発行ができない場合がありますので、期間中に必ず申告してください。

どうやって申告するの？

■受付について

申告相談の受付は、書類の提出が出来る方から順次受け付けます。農業・営業所得などのある方は、収支をまとめて申告相談にお越しください。

※会場で作成される方は、時間にゆとりをみてください。

■持参するもの

◇共通

◎送付された申告用紙

※会場にも用意してあります。

◎各種控除に必要な書類

※書類が不足すると控除の受付ができません。

◎印鑑

◇農業所得

◎収入支出がわかる書類

※必ず集計をしてください。

◎農協や市場などで発行する収支証明書や領収書

◎田植機などを購入または買い替えた場合は領収書

◎大型農業用機械(コンバイン)



詳細についてはお問い合わせください。

ン・トラクターなど）を買った場合は、販売証明書・領収書および保険料の領収書
◎耕作委託料などを支払った場合は、その領収書など
※委託内容が明記されたもの
◎堰費・土地改良費（維持管理費に限る）の領収書

◇営業所得など
◎収入支出がわかる書類（決算書収支内訳書・領収書）

◇給与所得
年末調整した場合でも、その給与以外に20万円を超える所得があると申告が必要になります。

◎所得税の源泉徴収票（原本）※中途退職し、再就職していない方は、以前勤務していた職場に請求してご用意ください。
◎扶養（配偶者）控除の認定は、所得要件があるため被扶養者の所得がわかる書類

■介護保険を受けている方へ

介護認定を受けている65歳以上の方で、常に就床を要し、複雑な介護を必要とする方は、特別障害者控除に該当する場合があります。

■お問い合わせ
福祉課福祉介護担当
（内線178～180）

■社会保険料控除について

国民年金の支払額（社会保険料控除の対象）は、市町村で把握できません。申告には国民年金の支払額を証明できる書類（平成19年1～12月に支払ったもの）の添付が必要です。必ずご持参ください。

■地震保険料控除について

今年から従来の「損害保険料控除」に替わり「地震保険料控除」が創設され、支払った保険料額が全額控除されます。（限度額 所得税5万円、住民税2万5千円）



これにより、損害保険料控除は廃止されましたが、平成18年末以前に契約した長期損害保険（保険期間や共済期間が10年以上で満期返戻金あり）については、従前と同様に控除が受けられます。

各地区の申告相談受付

■受付：9時00分～16時00分

月 日	会 場
2月18日（月）	穴山公民館
2月19日（火）	中田公民館
2月20日（水）	藤井公民館
2月21日（木）	穂坂公民館（穂坂コミュニティセンター）
2月22日（金）	円野公民館（つぶらの会館）
2月23日（土）	—
2月24日（日）	市役所1階防災会議室
2月25日（月）	清哲公民館（清哲会館）
2月26日（火）	神山公民館（武田の里ふれあいホール）
2月27日（水）	旭公民館
2月28日（木）	大草公民館（大草ふれあいセンター）
2月29日（金）	竜岡公民館
3月1日（土）	—
3月2日（日）	市役所1階防災会議室

※日曜日は込み合いますので、平日の申告をお勧めします。

市役所での申告相談受付

■受付：8時30分～16時

月 日	会 場
3月3日（水）	市役所4階大会議室
3月17日（月）	※土・日曜日を除く

税理士による確定申告無料相談

消費税の相談にも応じますので、ご利用ください。

■日時：3月3日（月）、6日（木）、7日（金）
10～12時、13～16時

■会場：市役所の会議室にて

3税共同説明会

住民税・事業税・所得税の申告相談に応じます。

■日時：2月4日（月）13時30分～16時

■会場：市役所別館201会議室

■お問い合わせ

税務課市民税担当（内線153～155）

地震保険料も支払っている場合は、両方の控除額を合計（限度額 所得税5万円、住民税2万5千円）して控除を受けられますが、1つの損害保険契約が、どちらにも該当する場合には、どちらか選択することになります。

■住宅ローン控除（住宅借入金等特別控除）を受けている方はご注意ください

平成11～18年末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている方で、所得税から控除しきれなかった額がある場合は、税源移譲前の所得税率で計算した所得税の額、または住宅ローン控除可能額の少ない方に不足する分を、翌年度の住民税（所得割）から控除できます。対象者となる方は3月17日までに税務課市民税担当（確定申告をする方は税務署に提出可）に、源泉徴収票を添付して



「市町村民税道府県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」を提出してください。申告書の提出がないと控除を受けることができませんのでご注意ください。

■還付申告について

医療費控除・住宅ローン控除など給与所得者の還付申告は、2月18日以前でも、甲府税務署で受付けています。

■お問い合わせ

甲府税務署
055-233-3111
055-237-8487



中学生の税についての作文

租税教育の一環として、納税貯蓄組合連合会が「中学生の税についての作文」を毎年募集しています。今年度、甲府税務署管内からは2,010点の応募があり、厳正な審査の結果、市内では韮崎市立東中学校から2名の作文が入賞し、表彰を受けました。

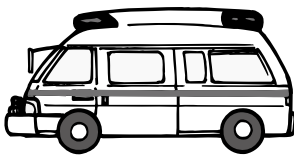
ここでは、表彰を受けた2名の作文を紹介します。

※作文の内容については、原文のまま掲載しています。

国税庁長官賞

『母の納税と国民の義務』

韮崎東中学校3年 河口 愛さん めぐみ



母子家庭の我が家では、毎月決まった日に母の「ぼやき」が起こる。給料日だ。「いくら働いても税金でこんなに引かれちゃうし、買物すれば5%も消費税で取られちゃう。全く困るわあ。」と眉間にシワをよせ、大声で叫ぶ。それは母の口癖であったが、その後は決まって「まあ、しかたないか、必要なんだからね。」と自分で納得するので、見ていてかなりおかしい。公民で日本国憲法においての国民の義務は「教育」「勤労」「納税」であると学んだ。しかし、実際実生活と教科書での学習が一致しない私は、女手一つで一生懸命働き、生活を支える母の納めた税金がどう使われて

いるのか、その必要性は何か母と一緒に考えてみたいと思った。



一言で税金と言っても所得税、住民税、消費税、酒税、タバコ税、など様々なものがある。ではその使い道はというと多種多様で、それは、例えば警察や消防署、救急など税金が我々の生活や街の安全を守り、支えてくれていること、自分達が通う中学校の他小学校、高校での教科書、国民医療費の公費負担、市町村のゴミ処理費用など、実に身近な所で多大に活用されていることを知り驚いた。

母と真剣に税について話をしていると母は、ふいに自らの仕事においての現状を話した。老人介護にたずさわる母の勤務する施設では、常に満員で何十人ものお年寄りが順番待ちをしているとのことである。その入所を待つ間、家族は自宅で介護しなければならず、経済的にも物理的に

わたしの作文が入賞したと聞き、驚くとともに、本当に嬉しかったです。

この作文は、学校の課題で書くことになりましたが、授業で学んだことや、テレビ、新聞で話題となっていた事柄を自分で調べながら書きました。

介護や医療費、年金、税金の滞納など様々な問題が山積していることに気づき、将来が少し不安になりました。

この不安を解消するためにも税金の無駄使いを無くし、有効に使われるよう、関心を持って生活していくことが大切だと感じました。

貴重な税金を活かして、誰もが将来に希望を持てるような社会になるといいなあと思います。



も、心身共に疲れ果ててしまっているのだという。母は、「愛が大人になる時代は、もつとお年寄りが増えて、少ない子供の愛達の負担はかなりの大きくなるだろうね。介護する方もされる方にも、もつと負担が少なくなるというね。」

とつぶやいた。公民の授業でも日本は急速に高齢化が進んでいて、少ない人数で一人のお年寄りを支えねばならない時代に入っていることを学んだ。また、その費用を皆で公平に広く負担し合う一つの考えとして消費税が生まれたことを思い出した。それを聞

いて私は、急に大きな責任を感じ、背筋がピンと伸びたような感覚になった。

自分も将来、職に就いて納税者になった時、自分の納めた税金が生きた使われ方をしているか、常に厳しく見ていくと思う。そして、一人の国民として、日本が今よりもっともつと住みやすい、すばらしい国となる為の、小さいが大きな協力者でありたいと思う。

母と真剣に税について話し合えた事は、私の税に対する考え方を大きく進歩させただけでなく、母の苦勞への感謝の気持ちも大きくさせた。

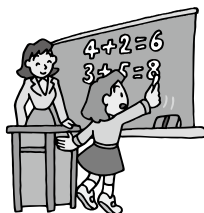
山梨県納税貯蓄組合総連合会会長賞

『税の未来』

韭崎東中学校3年 大柴まりやさん

ある日、テレビを見ていた私の目に、気になることが映った。それは、参議院議員選挙に関する、ある党のCMだった。どうやら、その党は税について、主に力を入れていくらしく、そのCMでも、税について取り上げられていた。『将来、せめて自分が払った分は受けたい。』そのCMの冒頭に出てくる女性の言葉。私はそれが気になり、税について、少し調べてみることにした。

皆さんは知っているだろうか。私達学生は教育費、ゴミ処理費用、道路や橋などの整備のための土木費、警察・消防費、そして、高齢者の生活を支えるための費用などが税金によって支払われていることを。私は今回調べてみて、以前、先生が教えてくれた



この作文を書くまでは、税金とはどのような使われ方をされ、社会にどのように役立っているのかなど、漠然としか分かっていませんでした。

今回、作文を書くために税金について調べたことで、わたしたちの身近なところで税金が使われ、みんなの税金で社会が成り立っていることを再認識することができました。

これを機会に、身近な生活環境と税金との係わりについて関心を持って、税への理解を深められるように勉強していきたいです。わたしが税金を納める立場になったときは、少しでも社会の役に立てるよう、しっかりと税金を納めていきたいと思います。

だことを思い出した。今、私が「思い出した」と書いたように、学生の中には、話を聞いたことはあっても、深く考えないため、覚えていない人も多いと思う。けれど、税について、より深く考えなければならぬのは、私達の世代ではないだろうか。

先ほど挙げた中にあるように、高齢者の生活は、税金で支えられている。そして、今の日本は少子高齢化が進んでいる。これが、どんなことを意味するのか。それはつまり、この先の未来、私達は今まで以上の高齢者を、今まで以下の人数で支えていかなければならない、ということである。そのためにはどうするか。税を増やすか、高齢者を支える金額を減らすしかない。

ここででてくるのが、CMの女性の言葉。人々の中には、この女性と同じ思いの人が多く、と思うし、考えてみると、税を増やす可能性の方が高いとなると、やはりこれからの税の問題に直面するのは、私達の世代である。また、高齢者を支える金額を減らすことに



なったとしても、それは同じである。私達が社会の先頭に立ち、日本をひっぱっていくことになったとき、よりよい方向へ進むためにも、今から意識していくことが大切だと私は思う。どのような政策で、良い方になったのか、悪い方になったのか。など、前例を知ることができる。今後生かすことができる、大切なことだ。文章でも知ることはできるかもしれないが、それより、実際に体験する方がよい。ゆえに、今から意識し、情報を得るこ

とは大切であり、必要でもあると思う。

私達の生活の周りには、税金によって成り立っているものが、本当にたくさんある。けれど、学生の中には、それを意識していない人が多い。未来を担うことになるであろう、今の学生が、もっと意識し、知り、作ることに、これからは、よい方へもっていかないと私は思う。そのために、より多くの人々に、税について意識し、考えていって

e-Tax で自宅やオフィスから簡単に申告ができます！

自宅やオフィスからインターネットを利用して所得税・消費税の申告ができます。

事前に電子証明書を取得していただき、開始届出書を税務署に提出してください。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成した申告書もe-Tax を使って申告することができます。

■ e-Tax で申告すると、こんなメリットが

- ①本人の電子証明書を添付して申告すると、最高で5,000円の税額控除を受けられます。
- ②源泉徴収票や医療費の領収書など、第3者作成書類の添付が省略できます。
- ③還付申告の場合、還付される期間が短縮されます。

■ お問い合わせ

甲府税務署

☎ 055-233-3111

URL : <http://www.e-tax.nta.go.jp>



フェアフィールドでの

異文化体験記

葦崎市の姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州フェアフィールド市へ「姉妹都市中学・高校生派遣事業」の交換留学生として派遣された生徒たちが、24日間の日程を終え1月7日に帰国しました。

この間、外国でのホームステイ体験等を通じ、それぞれ学んだことなどについて、感想を寄せてもらいましたので紹介します。

School welcomes Japanese visitors

Exchange program brings students to Green Valley Middle

By NIKA MEGINO
DAILY REPUBLIC

FAIRFIELD — Four pairs of eyes widened with bewilderment as 17-year-old Risa Horiuchi stroked the thin paper in front of her with a brush full of ink.

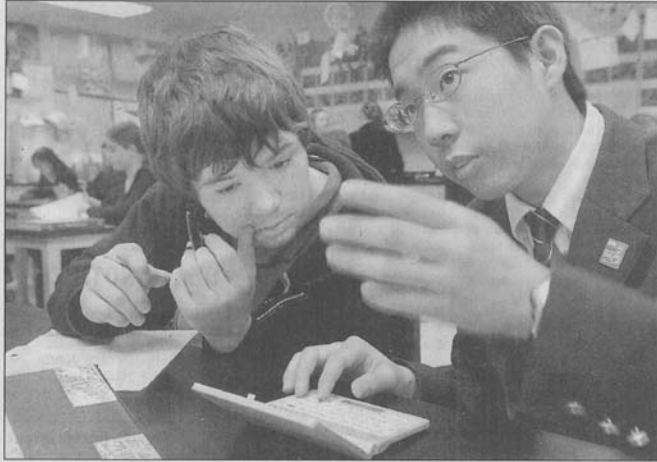
Horiuchi held up the paper to share it with four seventh-graders at Green Valley Middle School. On it was the word "love" written in Kanji - Chinese characters used in the Japanese language.

"That's so pretty," seventh-grader Taylor McCowen said.

Horiuchi is one of six students visiting Fairfield from Nirasaki, Japan, as part of the city's Japanese Sister City Exchange Program.

Students in the Fairfield-Suisun School District can apply to visit Japan this summer.

Five of the Japanese students visited Green Valley Middle School on Tuesday morning. From English and history to art and band, the



Green Valley Middle School eighth grader David Scott, 13, left, talks with Japanese student Tosuke Kaneko, 16, during Scott's science class Tuesday morning. Kaneko was one of five students from Nirasaki, Japan, visiting the school as part of the Japanese Sister City Exchange Program.

Brad Zweerink/Daily Republic

フェアフィールドの地元新聞で取り上げられた記事

アメリカから見た日本

葦崎西中学校 粕川 周平

このホームステイでは多くのことを体験し、様々なことに気づくことができました。

その一つがアメリカ人と日本人の考え方や行動の違いです。アメリカの人々は一見大雑把な行動をとっているように目に映りました。しかし、その多くは全体を俯瞰したからこその行動であり、アメリカ人は大局観が優れているなあと感心させられることが多々ありました。

それに比べ日本人はどうでしょう。目先の細かいことにとらわれ全体を見れていないような気がします。

そのようなアメリカの優れた点に、日本人が学ぶべきこともたくさんあるなあと、このホームステイを通じて感じました。まだまだ知らないことがたくさんあるので、またアメリカに行き色々な体験をしたいと思っています。

国際交流に参加して

葦崎東中学校 名取さやか

私がこのホームステイで出会った学生は、みんな明るく、とても生き生きと楽しそうに

していました。

学校訪問では、どのクラスに行っても私たちに手を振ってくれたり、笑いかけてくれたり、気軽に話しかけてくれました。授業を受けている生徒はとても積極的で楽しそうに勉強していて、黙って座っていることの多い日本の学生とは大違いで、本当にうらやましく思いました。

また、パーティーなど様々な場所で大勢の人に会いましたが、初対面でもすぐに打ちとけ、年齢や性別に関係なく話し、仲良くなっていました。

アメリカ人の、フレンドリーで自分の気持ちを素直に伝えられるところは、私も見習い今後の生活に活かしていきたいと思っています。

あつという間の24日間

葦崎東中学校 横森ありさ

海外にはじめて行く私にとって、今回のホームステイはとても楽しみであり、不安でもありました。

なんととっても会話ができるか心配していましたが、予



想通り最初は英語が聞き取れなくて大変でした。しかし、数日経つと少しずつ話の内容が理解できるようになりました。英語を上達させるためには、日常生活で実際に英語を使つて会話することが、一番の方法ではないかと感じました。

フェアフィールドの人達は、私たちを歓迎してくれ、24日間もあったホームステイがあつという間に過ぎてしまいました。葦崎にフェアフィールドの学生が来た時には、楽しく過ごせるように迎えてあげたいです。

ホームステイを通して思うこと

荏崎高校 戸嶋 亮太

12月14日、3泊4日の修学旅行から帰ると、すぐに翌日のアメリカ出発に備えて荷物の最終チェックをしました。サンフランシスコ空港に着いてアメリカの空を見たとき、とても大きくてきれいだったのを覚えています。

ホストファミリーに会う前には、どんな家族なのか分からず緊張しましたが、実際に会ってみると、とても仲の良い家族で、すばらしい時間を過ごすことができました。

このホームステイ体験では、毎日が新鮮で、いろいろなことを学び、成長することができました。24日間という限られた時間の中で、たくさんの人と出会い、いろいろなことを

を学び、たくさん英語で話をしました。

将来、アメリカで働きたいと思っていました。このホームステイを体験して、益々その思いが大きくなりました。今回学んだことを活かして、これからの生活に役立てていきたいです。

いろいろな学んだ3週間

駿台甲府高校 金子 洋介

12月15日午前11時、スーツケースを片手に自分の白い息を見つめながら、僕は一緒にフェアフィールドへ旅立つ仲間5人とともに高速バスの停留所に立っていた。

初めての海外、それも親元を離れて3週間あまりもの長い期間である。僕の心臓は「ドクン、ドクン」とこれまで生きてきた16年間で一番大きな音を立てていた。引率の持田先生が「みんな乗って」と声を掛ける。見送る家族の顔がボンヤリとし、口ボツミたいにぎくしゃくした動作でバスに乗った。

その後のことはあまりよく思い出せないが、気が付くとタイムスリップしたようにサンフランシスコの空港にいた。出迎えてくれたフェアフィー

ルド市職員の方の案内でホストファミリーと対面する。僕にとつて大好きで懐かしい友人との3年ぶりの再会。TJが笑顔で迎えてくれた。お互い「Long time no see」と言いながら最初のコミュニケーションが始まった。彼は3年前の夏、僕の家にホームステイしたのだ。

それからの日々を何と表現したらよいだろう。アメリカとそこで暮らす人々は、深い懐で僕らを包んでくれた。訪問した学校の生徒たちは、自分の考えを自分の言葉で話し、国を愛し誇りに思う姿に自分たちの未来は自ら築いていくものであることを僕に教えてくれた。出会った同世代の人々や大人たちは僕らの人格を認め、意見を求めた。このような体験を日本であまりし

たことがなかった僕は、言葉の持つ力と、言葉は自分を表現する手段であることを実感した。

滞在中の24日間は毎日が新しい出来事で満ちていた。この交流を通して学んだ、たくさんの方の言葉を荏崎市のために役立たせることができれば嬉しく思う。

最後に、滞在中お世話になった方々、持田先生、仲間

たちに「ありがとうございました」。

日本とアメリカを見て

甲陵高校 堀内 理沙

24日間は長いように思っていたけど、終わってみるとあっという間でした。

今回、私はただアメリカに行き、驚き、感動し、楽しむだけで帰ってくるのではなく、アメリカのことを学び、その上で日本とアメリカ双方のよさを感じて帰って来ようと思っ掛けました。

私たちは、いくつかの学校を訪問しましたが、どこへ行っても生徒たちは明るく積極的で、とても友好的でした。アメリカの学校は開放的で、自由であり、私は日本の学校との違いを強く感じました。生徒一人ひとりが自立して

いて、自分の判断で行動し、自分の責任で決定している生徒を見て、見習わなければいけないと痛感しました。

アメリカ滞在中は英語で会話をしましたが、思っていることを伝えることは少し難しかった。



たですが、伝わらなかったら言葉を変えて何度でも挑戦し、会話を楽しみながら英語の勉強をすることができました。英語というものに、毎日向かい合っていく中で日本語の美しさやよさにも気づくことができました。ただ事柄を述べるだけではなく、その人への尊厳や感情、関係までも表現できる日本語を今まで以上に好きになりました。

私はもともと英語の先生になりたいと思っていました。今回学んだことを忘れず、将来、日本とアメリカ両方の魅力を伝えられるような先生になろうと思います。